



ROSSCO -

Leaving the Unruly 3rd Dimension for the Peaceful 5th Dimension

～混沌とした3次元から絶対平和の5次元へ～

『Law of ATTRACTION Magazine』 2017年12月号
ROSSCO 特集記事 日本語訳

※日本語訳は、読みやすくするために内容に編集を加えています。

New-Dimensional Thought Technology

新次元思考テクノロジー MIROSS

Editor's Note

編集者から

今回は5次元のリアリティーにいながら3次元の世界で我々と一緒に存在しているという人物を紹介したいと思います。彼は日本の驚異的なスピリチュアルの賢者であり、ミロス・インスティチュートの創始者・主宰であり、30年にわたる研究と16年間の検証のもとに生み出した全く新しい、画期的な思考システムであるミロスシステムの構築者です。

そのロスコ氏を語る上で、彼の数奇な生い立ちと体験は外すことはできません。

彼は幼少の頃から不治の病に冒され、6才までの命と医師に宣告されていました。体を横にすると呼吸が止まるため、常に死と隣り合わせの極限状態のなかで過酷な毎日を送っていました。

睡眠と覚醒の間を常に行き来し、夢の世界と現実の世界との境界が曖昧になっていた彼は、いつしか病気で苦しんでいる自分の姿を天井から見下ろすという神秘的な体験を繰り返すようになりました。

そしてある時、それまで見たこともない特異なビジョンを垣間見たのです。

ロスコ氏は、その時のことをこう話します。

「まるで走馬灯のように過去から未来へと展開されていく人類の歴史と、その真ただ中に身を置いているリアルな感覚。そして同時に、その流れと逆方向から押し寄せて来る、壮大で未知なる世界。いわば、過去と未来が対極から押し寄せてきて私のなかでぶつかり合い、巨大なエネルギーとして昇華する感覚でした。それと同時に、私の身にある奇跡が起こりました。長年私を苦しめつづけた病気が一瞬で消え去ったのです」

そして、この時、彼は子どもながらに直感的に確信したことがありました。

それは、「人間の苦しみにはメカニズムがあり、それを知ることによって、人間の苦しみは終わり、人類は必ず変容する」ということでした。

以来、あの“垣間見たもの”の正体 —「人間の苦しみは終わり、人類は必ず変容する」ことの意味— を明らかにすることが彼の人生最大のテーマとなったのです。

そして、この体験が、現在、『新次元思考テクノロジー MIROSS』として発表している新次元の思考システムのベースとなる知性との出会いに繋がっているのです。

これから紹介するこのロスコ氏の記事に、皆さんも魅惑されることでしょう。

編集長 ジュールズ・ジョンソン

The Key to Absolute Peace

絶対平和への鍵

「一人ひとりの内側の葛藤を終わらせることにより絶対平和の世界が実現する。」

一般的に「平和」を語る上で、「世界平和」や「持続可能な平和」という言葉をよく聞きますが、「絶対平和」はあまり聞き慣れない言葉です。

私は、私が発見し体系化したミロスシステムで、人類が「絶対平和」の世界を実現できると確信しています。この記事では、戦争はもちろん、あらゆる問題の根源を明かし、それを解明しながら、なぜ絶対平和が実現可能なのか、なぜ“絶対”とまで言い切れるのか。ディスカッションを展開しながら、「ミロスシステムとは何か」を紹介していきます。

さて、2017年も残すところ1カ月となりましたが、今年も世界中で、信じがたい出来事がたくさん起こりました。いたるところで様々な戦い(民族間、人種間、宗教間、国家間など)が繰り広げられ、まさにエゴが肥大化した人間社会の構造と、世界が墮落していく様子を露骨に感じさせられた1年ではなかったでしょうか。

しかし、人類の長い歴史を振り返ると、この1年の出来事も、有史以来、何千年もの間繰り返されてきたことであり、いくら平和を渴望しても、未だ人間は戦いを終わらせることができないのです。

人類はこれまで、科学、宗教、精神世界、哲学、思想を通して、平和を追求して来ました。しかし、なぜ今まで一度も苦しみから解放されたことがないのでしょ

うでしょうか。融合の世界(平和)に向かうのではなく、ますます分離が進み、対立が深まり、平和からどんどん遠ざかっているように見えます。

今、まさに人類、地球は、持続可能かどうかの瀬戸際に立たされています。もう今までのやり方ではうまくいかない事を、目の前の世界が教えてくれています。社会制度の崩壊、人間の崩壊、それをくい止める術もありません。

すでに多くの方が気付いておられるでしょうが、この3次元の延長線上に問題を根本的に終わらせる方法はありません。それは、科学者だけではなく、これまで沢山の聖者が語ってきたことであり、問題をつくりだした同じ意識では、人間の葛藤や苦悩を終わらせることも、真の平和を実現することも不可能なのです。

私は、人間が新次元の知性を得ることにより、エゴが支配する世の中は終わると確信しています。

戦争や病気で潤う経済システム、戦争に反対し“平和のために戦う”という矛盾、暴力や権力に屈する世界…。そして、何度も過ちを繰り返してきた人間のプログラムを終焉させることができるのです。

そして、ミロスシステムの理解により「高次の視点」を得た人間が、3次元の思考体系から抜け出し、新次元の思考体系に移行することによって、意識進化を遂げることができると確信しています。そして、その高次の視点から観た時、人類がなぜ苦しみ続けてきたのか、戦い続けてきたのか、その本当の原因を明確に知ることができるでしょう。

数年前、世界ではマヤ暦が終わるという話や、ある年を境に世界はアセンションするという話に湧きました。実はすでに新しい文明が変わっており、従来の人間の生き方が通用しなくなっています。だからこそ人類には、全く新しい生き方のソフトが必要なのです。それは天動説から地動説へのパラダイム・シフトや、ニュートン物理学のパラダイムでは量子物理学の世界はとらえられないとわかったこと以上に、地球全体に大変動をもたらすものとなるでしょう。今まさに、人類史上はじめて以来の大どんでん返しが起ころうとしているのです。

The Reason: Division and Opposite Polarities

分離と相対

私たちの住むこの世界では、「光と暗闇」「主体と客体」「善と悪」「男と女」というようにそれらが反対のものとして存在しているという認識があります。この相反する(例えば善と悪や主体と客体)の2つのものが別々のものであり、分離しているという認識は、この3次元の世界に住む我々の意識の中に根深く刷り込まれています。この二元性における分離の認識が、実は、歴史上、私たちの内側に葛藤と欠乏感を生み出して来たのです。

しかし、分かれて見えるこの2つの極は、高次の視点から観ればペアで存在していることがわかります。そして、この世のものはすべてペアで存在しているのです。

一番身近な例を挙げてみましょう。人間は父と母によりこの世界に誕生しています。100%というものが見当たらない世界で、これは100%の真実であり、父と母から遺伝子を半分ずつ受け継いだ私たちは、男であろうと女であろうと、男性性と女性性のエネルギーが融合した存在です。表面は男または女でも、中身は同じく男性性と女性性でつくられているのです。

磁石の例をとって説明してみましょう。一本の棒磁石はN極とS極という2つの極性を持ちます。この棒磁石を中心で切って2つに分けると、分けた瞬間に今までN極だったものにN極とS極が生じ、同じくS極にもS極とN極が生じます。表面的には相対する2極ですが、実は同じものを持っているということを明確に示しています。

今まで我々は、相対を単に反対のものとして捉えてきました。表と裏、長所と短所、束縛と自由など、反対語として習い、別々に分けて全く違うものと認識して生きて来ました。

同時に存在するペアとして捉えることができず、片側ずつしか見えないことで、常にエネルギーは分散し、真実の世界は覆い隠されてしまっていたのです。

Identification

同化

さて相対のトリックと同じく、我々がこの3次元の世界ではまっている恐ろしいトリックを明かしてみましよう。それは同化というトリックです。

一般的に同化は同質化とも言いますが、日常自分では意識できず、考えてもいないことです。それは男性(女性)が自分を男性(女性)だといちいち考えて生活していないようなことです。

例えば、あなたが誰かの感情に共感した場合、その相手と感情を共有し、あなたも同じような気持ちになります。これは影響を受けたということです。また、渦を巻いている海水に人が飛び込んだ場合、渦に巻き込まれ混乱状態になります。これも影響を受けている状態です。

しかし、海水の渦に水を一滴流しても、同質の水であるため、影響を受けるのではなく海水に同化し、海水が渦巻いていても、中に溶け込んだ水は静止した状態になります。

この同化が、3次元世界に住む人間の意識にも起きているのです。一体何に同化しているのでしょうか。

量子物理学では、人間の身体を原子レベルにすると隙間だらけのスカスカ状態だと言います。人間に限らず、万物は宇宙の物性に完璧に同化され、魚が水を意識できないのと同じで、我々も空間を意識できていないのです。もし、様々な測定器もすべて空間に同化しているとしたら、我々は一体どこに真実を見出すことができるのでしょうか。

そして、我々が自分と思っている自分も、本当に存在しているかどうかわかりません。

なぜなら、人間もエゴに同化しているからです。

The World of Reversal

反転

我々の目の前のものは全て反転しており、それ故に、我々は何一つ真実を見ていません。父も、母も、兄弟も、友も、恋人も、夫も、妻も、この自分でさえも、本当の姿を見たことがないのです。全ては同化と反転という仕組みの仕業であり、人間は、自分ではわからない無意識が反転した、ある意味、思い込み(幻想)の自分を生きているのです。

もし人類の祖をアダムとエバとした場合、アダムとエバを始まりの点にすると、過去から未来への時間の経過と共に人口が増え、未来は面の広がりになります。

逆に、現在にいる私を点にして過去に遡ると、過去に戻れば戻るほど先祖が増え、アダムとエバの方

向に向かって過去は面の広がりになります。このように過去に点を置いた場合、未来はマクロになり、未来に点を置くと過去はマクロになるという反転です。

自分が何かに意識を向けている時、それ以外はすべて盲点となり、意識を向けているものには、自分の中にある自分では見えないものが反転して映し出されています。人間には真実は何も見えていないということになります。一体、我々は何を見ているのでしょうか。

The Mechanisms of Third-dimensional World

3次元世界の仕組み

我々は、相対のペアを、反対のエネルギーを持つ全く別のものとして捉えてきました。

そして、相対の片方に意識を傾け同化していることで、自分ではわからない無意識が反転した世界を見て生きているのです。

つまり、この3次元世界では真実は何も見えません。そして、自分が生きている世界の仕組みを知らずにいる人間が、問題を終わらせることができるでしょうか。本当の原因が何かもわからないまま、人生を変えることはできるでしょうか。苦悩や戦いを終わらせようとしても終わらせることができないのも、人生を変えたくても変わらないのもこのためです。

それならば、どうしたら真実の世界を見ることができるとか。どのようにしたら苦しみや葛藤を終わらせ、真の自由と、絶対平和の世界を実現できるのか…そんな疑問が湧いてくるでしょう。

この3次元世界では、片側にプラスを存在させると、同時にその相対にはマイナスが現れます。そして、人間はこの2つを分けて捉えているため、全てが2極に分離した世界の中で、極と極の間を往ったり来たりする人生に翻弄されてしまうのです。

プラス思考のパターン

プラス思考は、その内面に自己否定(自分の事を認められない)など、ネガティブなものを隠し、それをバネにしてプラスに傾いた思考です(同化)。自分に自信があるという人も、実は奥底に自己否定や自己不信を持っているのです。

そして、人間関係では、内面に持っている自己否定が表に反転し、相手に映し出されます。

相手に認めてもらいたくても、認めてもらえないと感じるのは、あなた自身が自分を認めることができないからです。

つまり、プラス思考でどんなに頑張っても、無意識に持っている否定的なものが表に反転するため、あなたの願いは叶わないようになっているのです。

では、マイナス思考に傾いた人はどうでしょうか。

目の前に魅力的な人が現れれば、一層、自分の価値を下げ落ち込んでしまいます。しかし、魅力的だ

と感じることが出来るのは、自分の中にも魅力的な部分があるからであり、この仕組みがわかれば、自分の魅力を取り戻すことが出来るのです。自分よりも優れた人と比べて、自分を卑下することもなくなり、相手の魅力を素直に認められるようになります。どんどん美しいもの、魅力的なものを見て、自分のものとして受け取っていくことで、人生はとても楽しいものになるでしょう。

もう一つの例です。あなたがパートナーを見て、「全く情熱も無く、無関心」と感じたとします。自分はこんなにも情熱的で愛情があるのに、なぜ目の前のパートナーは冷めたように見えるのでしょうか。この場合も、自分の中に両極があるということを知らなければなりません。実は自分に無関心で愛のない自分を嫌い、情熱的で愛情あふれる人間のふりをしているから、目の前のパートナーに自分の隠したものが映し出され、無関心で冷めたように見えるのです。

このように自分の内面意識の葛藤を、目の前の相手は映し見せてくれています。

しかし、この事を知らない人間は、相対の世界の中で、同化と反転のトリックにはまり、自分が映し出される世界と戦い、苦しんでいるのです。

How to Obtain Peace

平和を実現するために

では絶対平和を、相対と分離、同化と反転という観点から見るとどうなるでしょうか。

今まで説明してきましたように、全てが2つに分かれて見えますが、実はその2つは表裏一体して同時に存在しています。戦いと平和も相対のペアであり、常に同時に存在しています。

そして、誰の中にも攻撃性と平和的思想があり、この2つが分離しているために、平和のために戦うという矛盾を生み出しています。攻撃性を悪いものとして抑圧し、平和に傾くことで、無意識の攻撃性が表に反転して現れるのです。

争いの元になる内面の葛藤を終わらせるには、高次の視点から、自分の中にある両極を観て、その2極が、相対の美しいバランスで同時に存在していることを知ることで、終わらせることができます。絶対平和を語る上で、ミロスシステムの体現者の実証例はとても貴重です。なぜなら、彼らは大変な人生を送っていましたが、自分の内面の平和を成し遂げたことにより、人生を全く新しいものに変えているからです。

5次元とは、パートナーユニティーを成し遂げ体験できる次元です。パートナーユニティーとは、カップルがそれぞれ内側の結婚(男性性と女性性と融合)を成し遂げ、その2人の宇宙が融合し、全く新しい宇宙が形成されることです。この新たな時空は2人の人間によって究極の創造を体験できるゾーンです。これが世界の秘宝であり、私が発見した“マリッジコード”であり、あなたの本当の思

い通りの世界が待っているのです。

そして、この新たな時空で、自分の存在の概念をもひっくり返されてしまうことでしょう。

Success Examples:

実証例

私は今まで、ミロスシステムにより苦しい人生がまるで幻想だったかのように変容した人々を数えきれないほど見てきました。従来の人間の枠組みを超えた体験が連鎖的に波及し、夫婦、親子、家族関係をはじめとするあらゆる人間関係の再生も起こっています。

一瞬で病気が消え去る体験、経済が動き出す体験、時空を超えて過去も未来も同時に変わってしまう体験もめずらしくありません。

日本 東京在住 品田奈美さん 4児の母親であり講師

幼少期に父親から身体的な虐待を受け、高校では教師から性的虐待を経験しました。

大人になってからはレイプの被害を何度となく受け、その上、摂食障害、薬物依存、そして鬱に長年悩まされ、自殺未遂も何度か経験しました。結婚後は薬物依存症だった夫のDVに悩まされ、子供と自分を守るため何度か逃避をする生活を余儀なくされてきました。その夫と2度の結婚と離婚を経験し、子供たちは学校でいじめに遭い、ある時は彼女の依存症があまりにもひどいことから日本でも最も重症な患者を取り扱うリハビリ施設での生活を数年強いられました。生活は、生活保護に支えられながら貧困状態を何年も経験するという人生を送っていました。

しかし、ミロスシステムに出会い、相対の原理を理解したことにより、彼女は生まれ変わるように変容してしまっただけです。同じ男性(別れた夫)と3度目の結婚をし、子ども達は素晴らしく成長し、幸せな結婚生活を送っています。もちろん夫婦共に完全に依存症からも解放されています。またミロスを実践することによって経済面も潤い、今では優雅な生活ができるようになっています。

日本 富山県在住 砂原美智代さん セラピスト

砂原さんは、想像もつかないほど酷い人生を送ってきました。幼少の頃は、母にテニスのラケットが折れるぐらいの体罰を受けていました。その母も鬱に冒されて自殺をしてしまいます。妹は脳性小児麻痺によって若くして命を落とします。彼女は、学校では一番醜い子供と言われ、常にいじめに遭っていました。また、叔父は慢性アルコール中毒で苦しみ、詳細はわかりませんが、お祖母さんは異常者呼ばわりされていました。

彼女は若い頃、婚約していた男性から、自分の生い立ちについて呪われた家族だと言われ婚約を破棄された経験がありました。その後、結婚と離婚を2度繰り返し、2度とも、結婚後に知ったという精神分裂症の夫によるDVを経験しました。

他にも、友人に騙され2000万円ほどの金額を損失し、親友の3人を癌で失い、彼女自身も子宮の病で手術をしています。このように人間関係、お金、健康面など、すべてにおいて壮絶な体験をしていました。

しかし、ミロスシステムに出会ってからというもの、彼女の人生は劇的に変容し、彼女いわく「最高に幸せな女性に変容してしまった」のです。現在49歳ですが、魅力的で若々しく、年下の男性からアプローチされることも多いそうです。

今は、自分の好きなことをしているだけで思った以上に収入もあり、あくせく働くこともなく生活しています。家族関係も変わり、また、趣味のダンスを追求することにより、その分野で有名になり、まるで別人に生まれ直したかのような人生を送っています。

いかがでしょうか。数多くある実証例の中から、2件紹介させて頂きました。

Absolute Peace – Beyond the Threshold of Humanity

絶対平和 — 人類の分岐点を越えた世界

新次元思考テクノロジーは、人類が陥ってしまったトリックを紐解き、その実践によりあらゆる問題から人間を解放することができるシステムです。それにより、私たちは“人間”という3次元の枠組みを超越し、5次元で自由に生きることが可能になりました。

一人ひとりの人間が内側のバランスと平和を体現することができるのです。有史以来、人間が蜃気楼のように追いつづけてきた絶対平和の世界を実現し、人類の分岐点を越えて一人ひとりに新しい文明が姿を現すのです。

大事な事は、全てが自分との関係性である事。外側の環境や 他者には全く責任が無い事。見ている世界は全て自分がつくり出したものであり、全てが自分の宇宙であるからこそ、内側が整えば外側はいくらでも変えることができます。

聖者が「全ては自分の宇宙である」と言ってきた意味を、ようやくここで知ることができるのです。

一人ひとりの戦いを終わらせ、世界を変えと言っても、これは気の遠くなるような話ではありません。このように考えてみてください。

もう戦う必要は無いのです。戦闘服も勲章も必要ありません。立場は様々だと思いますが、一人ひとりの中に世界を変える力があります。この行き詰ったこの次元に風穴を開け、これから生まれて来る子供達のためにも、今の子供達のためにも、この悲惨な文明を歓喜と愛と繁栄の世界となる新しい文明に変えて行こうではありませんか。そのためにも、あなたがまず内側の平和を遂げ幸せになること、それそのものが世界を変えていくのです。

About Rossco, Author

著者 ロスコについて

ミロス・インスティテュートの創立者・主宰であり、30年もの研究をもとに生み出した全く新しい、画期的な思考 システムであるミロスの構築者である。現在、パートナーのみどりと共に社会が直面している無数の課題を根源から終わらせる“意識進化の最終手段”としてそして絶対平和の実現のためにミロスの世界に広めるべく活動を続けている。

パートナーとともに日本、神戸に在住。

詳細は、ロスコオフィシャルサイトへ

<http://rosscobook.com>

<http://rossco.jp>